

2007年08月09日

独立行政法人海洋研究開発機構

海洋地球研究船「みらい」による研究航海の再開について

海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）が運用している海洋地球研究船「みらい」は、北西太平洋海域で実施しておりました観測調査中に、左舷推進器（スクリュー部）にからまった漂流漁具（ロープ等）の除去のため調査を中断し、青森県八戸港へ寄港しておりましたが、除去作業を無事終了し、出港、調査航海を再開致しましたのでお知らせします。

記

1. 状況

- (1) 平成19年8月1日午後23時30分（日本時間）、北西太平洋海域にて観測調査中に漂流漁具（ロープ等）が左舷推進器（スクリュー部）にからまったため作業を中断。現場海域に潜水土を派遣するものの波高が高いため作業を断念。
- (2) 平成19年8月9日午前11時50分 青森県八戸港に着岸
- (3) " 午後12:50 除去作業終了
- (4) " 午後15:10 出港

2. 今後の予定

8月12日ごろ調査海域到着、観測調査再開の見込み。

お問い合わせ先:

海洋研究開発機構

（「みらい」研究航海について）

海洋工学センター 研究船運航部 運航グループリーダー

内田 徹夫 電話 046-867-9910

（報道について）

経営企画室 報道室

大嶋 真司 電話 046-867-9193